

第14回日本獣医がん学会  
雑誌編集委員会

- 【日時】2016年1月30日(土) 15:00-16:00  
【場所】ホテルニューオータニ大阪 B1F ベルフラワー  
【議長】藤田 道郎(委員長)  
【書記】福原 佳子(編集担当)  
【出席者(順不同、敬称略)】藤田道郎、鈴木 学、皆上大吾(合計3名)

1. 報告事項

- 1) 2015年度投稿状況のご報告(2016年1月29日現在) 藤田委員長  
すべて短報 (J):日本語 (E):英語  
001(J) 査読者1名(A)のみで、メイン査読に査読結果を  
002(J) メイン査読からの戻り待ち  
003(J) 査読依頼  
004(E) コレスに査読結果を送信 戻り予定1/5 未返信  
005(J) メイン査読者から査読者選定後、編集からの依頼保留中  
006(J) 編集担当が投稿規程と照合前  
007(J) 編集担当が投稿規程と照合前

2015年は6本の投稿があり、2016年現在までに2本が投稿され、全8本ある。  
2015年の間に査読が終わらず、発行には至らなかった。  
投稿が増加した要因は、認定医1種の資格更新条件にしているためと思われる。本来であれば査読が終わり、掲載許可が出た段階で更新資格とするのが通常であるが、今回に限っては受理証明を発行した段階で更新としなければ、編集委員会側の問題が生じる。論文を受領し受理証明を発行した段階で条件を満たしたとする。  
将来的には、論文が掲載不可とされた場合は、投稿していても更新資格に値しないと判断する方向にすることが望ましいと思っていることを確認した。  
メイン査読者には早めに見て頂くようお願いしたい。  
この投稿数であれば、年2回は発行できるペースであるため、査読を急ぐようお願いしたい。

2. 審議事項

特に無し。

3. その他

- (1) 査読者リストについて

皆上: 査読者リストはしばらくアップデートしていない気がするが?

藤田: 最初に確認して OK とお返事を頂いた方を査読者リストにしているため、毎

回確認は不要と思われる。もし、最初に査読を OK していても査読を断られた場合は、編集委員会に報告して頂き、更新する。リスト以外に推薦できる方がいれば、お引き受け頂けるかどうかを編集担当より確認する。

確かに、抗がん剤を使用するような論文が多いため、内科系の査読者を増やすよう考慮したいと思っている。

メイン査読も 2 名しかいないとメイン査読も厳しい気がするので推薦を頂きたい。

以上